

蘇我支部2回定期大会開催さる

2/20

日刊 動労千葉

80.2.25

No.359

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六)公衆 電話三三二七二〇七

蘇我支部才二回定期大会は、2月20日、10時より機関区検査係詰所に代議員傍聴者など約30名が結集する中で開催され、国鉄35万人攻撃を中心に闘う意志統一をかちとった。

大会議長に渡辺代議員 (検査分科)を選出

大会は、刃込副支部長の司会ではじまり、議長に渡辺代議員(検査分科)を選出して進められ、まず宇佐美支部長からつぎのようなあいさつがなされた。

「昨年6月28日、一人の脱落もなく支部結成をかちとった。動労千葉は、昨秋10.22(11)ストをはじめ多くの闘いを闘い抜き、年末には一〇六名の不当処分をけって80年を闘いの年で打ち明けた。今日、緊急の問題として国鉄35万人体制攻撃がかけられている。蘇我支部は、他支部の仲間と共に闘い抜く。」
本部からは、中野書記長、布施・山口両執行委員が参加し、代表して中野書記長から

- ① 現在、動労千葉の当面する問題
 - ② 蘇我支区の将来展望
 - ③ その他、35万人体制と要員問題、80春闘など、今日、動労千葉が当面する課題と情勢の全般について発言がなされた。
 - つづいて、支部執行部より経過・決算・方針案・予算案が提案され、後から参加した関川委員長もまじえて、
 - ① 組合費返還訴訟
 - ② 全国総連合構想
 - ③ 組合財政
 - ④ 地域給などの待遇改善、
- などについて質疑討論が行われたのちに満場一致で方針を確認した。

執行部先頭に全員ガツキりと団結し前進した一年間

周知のように蘇我支部は「本部」反

動集団が、あこがましくも、オルグの重点区々などと称して連日重点的に団結署名妨害・支部破壊に押しかけて来る中で、執行部の血のにじむ努力で地道な現場討論とオルグを幾度となくつみ上げ、遂に100%の団結署名達成をもって昨年6月28日に支部結成大会を勝ちとってきたのであった。

蘇我支部のこの闘いは、今日、動労千葉全組合員のものとして受けつかれ、佐倉・銚子支部の結成へとねばり強く闘い抜かれているのである。

とりわけ当局の合理化攻撃の軸柱に貨物削減・柵関区取場縮少の方向性が強く指向されている今日、当局に全面屈服し「貨物安定宣言」路線をもつて柵関区取場労働者からストライキはおろか一切の闘争権利・武器を剥奪・禁止した動労「本部」革マル反動分子の裏切り路線の下では何一つとして労働者の権利を守ることができないのだという事を一層はつきりとつき出し、動労千葉の闘う路線のもとで今こそ総決起していこう。蘇我支部は、新小岩・佐倉の柵関区仲間の先頭にたって闘い続けることを大会の成功でもって宣言したのである。

3.2 三里塚労農連帯・80春闘勝利

80年代を闘う全国労働者集会

とき 3月2日(日) 正午～午後6時

ところ 千葉県文化会館(千葉市)

主催 国鉄千葉動力車労働組合

協賛 三里塚芝山連合空港反対同盟

基調報告

国鉄千葉動力車労働組合

報告、発言

全通(全通特昇粉碎) 全電通(反合処分)

政労協(「ヤミ賞与」攻撃粉碎)

沖縄軍労働者(機動隊導入・四種首切

り粉碎) 沖縄自治労(反自衛隊闘争)他